



TONAMI

第103期 中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

TONAMI

トナミホールディングス株式会社
TONAMI HOLDINGS CO.,LTD.

証券コード 9070

トナミホールディングス グループビジョン

「和」の経営理念を実践し、
経営基本方針に基づいて「企業の社会的責任(CSR)」を
果たしていききたいと考えております。

トナミホールディングスグループは、『輸送を通じ社会に寄与し事業の発展をはかる』を経営基本方針とし、「事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを徹底する」ことを行動原則とし、企業の社会的責任を果たしていききたいと考えております。

社員行動 規範

社会的責任と公共的使命の重みを常に意識し、
強い遵法精神と社会的倫理に基づき、良識をもって行動します。

私たちは、

- ▶ お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ▶ 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ▶ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- ▶ 公正な企業活動をします。
- ▶ 整理・整頓に心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ▶ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ▶ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ▶ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ▶ コンピュータ・ネットワークの不正な利用、業務目的以外の使用をしません。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

国内経済は社会経済活動の正常化が進む中で、景気の持ち直しが期待されましたが、ウクライナ情勢の長期化や記録的な円安等により、原油・原材料価格の高騰に加え、消費者物価の上昇が続くなど、依然として厳しい状況で推移しました。

物流業界におきましては、2021年度の国内貨物輸送量が5年ぶりにプラスに転換したものの、本年度については生産関連貨物などの減少等により、再びマイナスに転じる見通しとなっています。また、軽油価格の高騰が長引いており、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、「第22次中期経営計画(2021年4月1日～2024年3月31日):コーポレート・スローガン『TONAMI NEW PLAN 2023』」の2年目の取組みを進めており、新しい経営ステージをめざして、過去最高の業績目標に加え、DXを活用した物流システムの展開やM&A、設備投資の積極展開などをはかり、社会の持続的な発展に寄与できるよう邁進しています。

物流関連事業においては、中長期的な成長を継続するための経営基盤の強化にむけ、DX推進による業務の可視化・効率化による生産性向上や安全性向上など、お客様のニーズに応える物流サービスの強化に取り組んでおります。また、当社グループの物流品質が「トップ・クオリティ」として評価いただけるように、総合的なロジスティクスサービスの一層の

充実をはかるなど、3PLをはじめとする事業の拡大に努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、営業収益において、前年同期比6.9%増の703億15百万円、営業利益は、同1.8%減の35億51百万円、経常利益は、同1.9%増の39億59百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同2.9%増の27億68百万円となりました。

この業績を踏まえ、本年度の中間配当金につきましては、1株当たり60円とさせていただきます。

今後も、新しい社会構造の中、当社グループのあらゆるステージを変革することで、次世代の物流企業への進化を通じた企業価値の向上を実現し、すべてのステークホルダーのご期待に応えていくとともに、社会の持続的な発展へ貢献する企業をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

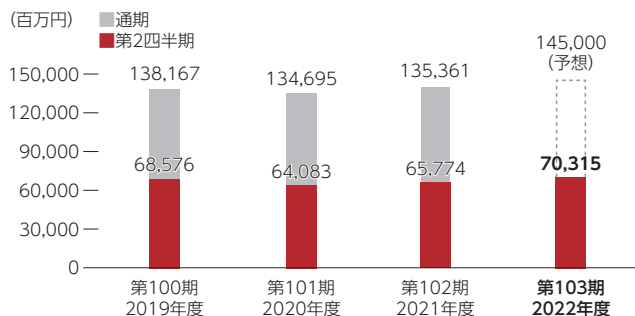


代表取締役社長

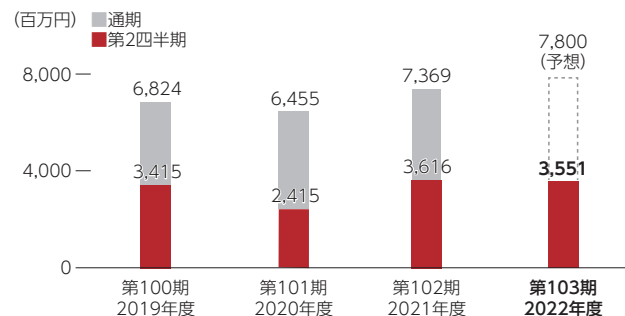
綿貫 勝介

■ 連結業績ハイライト

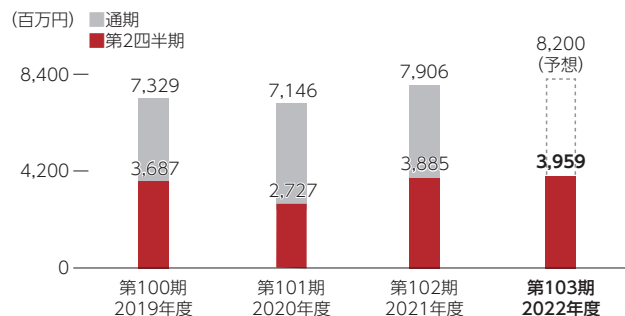
営業収益



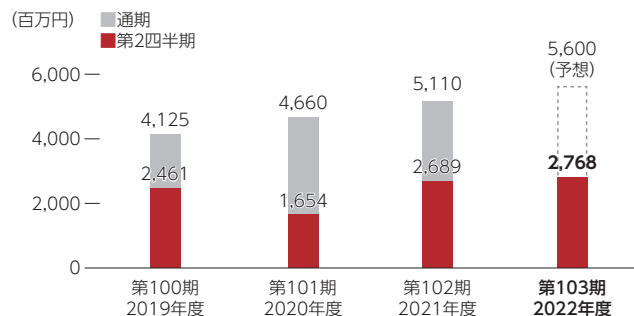
営業利益



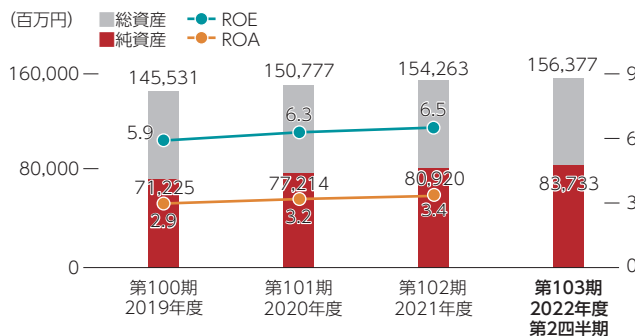
経常利益



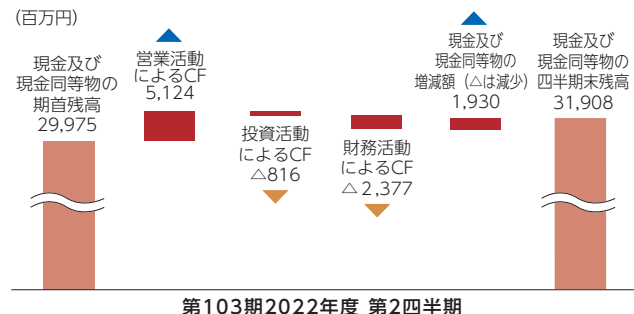
親会社株主に帰属する純利益



総資産・純資産・ROA・ROE



キャッシュ・フロー計算書の概要

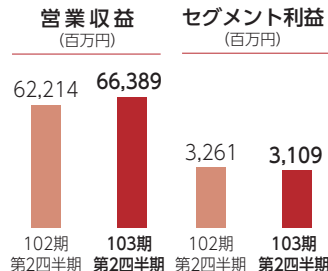
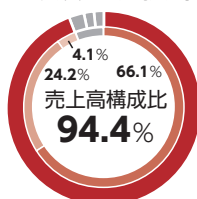


セグメント別概況

物流関連事業



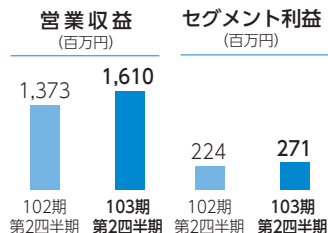
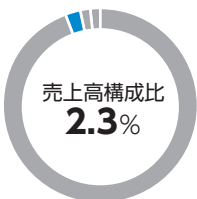
■ 貨物自動車運送事業
及び貨物利用運送事業
■ 倉庫業 ■ 港湾運送事業



物流関連事業は、貨物輸送量の増加及びM&Aの寄与などにより、営業収益は663億89百万円と、前年同四半期に比べ41億74百万円(6.7%)の増収となりました。

セグメント利益は、31億9百万円を計上し、前年同四半期に比べ1億51百万円(4.7%)の減益となりました。

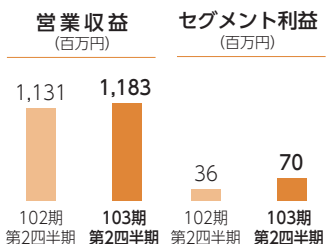
情報処理事業



情報処理事業における営業収益は、16億10百万円と、前年同四半期に比べ2億36百万円(17.3%)の増収となりました。

セグメント利益は、2億71百万円を計上し、前年同四半期に比べ46百万円(20.7%)の増益となりました。

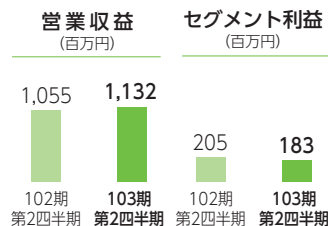
販売事業



物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は、11億83百万円と、前年同四半期に比べ51百万円(4.6%)の増収となりました。

セグメント利益は、70百万円を計上し、前年同四半期に比べ33百万円(91.2%)の増益となりました。

その他



その他では、自動車修理業、その他事業などで営業収益は、11億32百万円と、前年同四半期に比べ77百万円(7.3%)の増収となりました。

セグメント利益は、1億83百万円を計上し、前年同四半期に比べ21百万円(10.7%)の減益となりました。

通期の見通し

今後の経済情勢につきましては、ウクライナ情勢の長期化や円安、物価上昇が景気を下押しするリスクとなっているほか、燃料費の高止まりや新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されております。

このような中、当社グループは、「TONAMI NEW PLAN 2023」をコーポレート・スローガンとする第22次中期経営計画の5つの経営戦略に取組み、中長期的な成長を継続するため邁進いたします。

- ▷ 特別積合わせの複合ビジネスとしての戦略展開によるロジスティクスビジネスの成長
- ▷ TDXによる業務効率の向上 (TONAMI デジタルトランスフォーメーション)
- ▷ 多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築
- ▷ 自己資本比率の向上と安定した資本政策
- ▷ 経営品質 (CSR・BCP) と成長性 (ESG) 評価や社会的認知度の向上

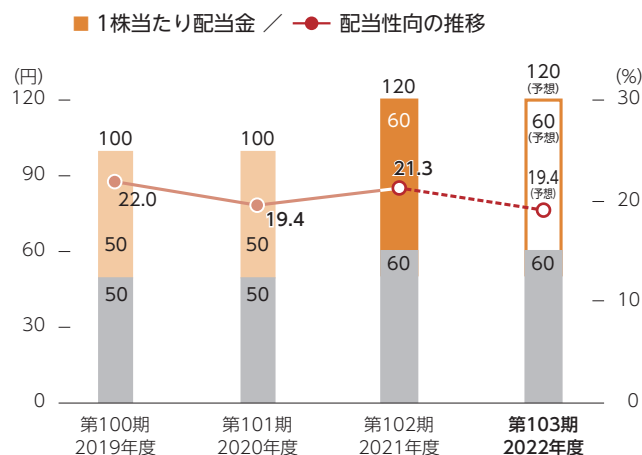
連結業績予想

営業収益	145,000	百万円 (前期比 7.1%増)
営業利益	7,800	百万円 (前期比 5.8%増)
経常利益	8,200	百万円 (前期比 3.7%増)
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,600	百万円 (前期比 9.6%増)

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、将来の事業展開に備えた成長投資の原資を確保しつつ、財務の健全性を維持することを前提に、キャッシュ・フローの水準等にも留意して、株主の皆様へ安定配当を行うことを基本としております。

この方針のもと、当期の業績や財務状況、今後の経営環境等を総合的に勘案いたしまして、中長期的な視点に立ち、今後も成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、継続的な成長と企業価値向上に努め、株主の皆様への利益還元をはかりたいと考えております。



貸借対照表

◎単位:百万円、単位未満切り捨て

科 目	当第2四半期 連結会計期間 2022年9月30日現在	前連結会計年度 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	59,066	57,818
現金及び預金	32,328	30,395
受取手形	1,602	1,968
営業未収入金及び契約資産	20,670	21,535
その他の流動資産	4,603	4,058
貸倒引当金	△138	△139
固定資産	97,310	96,444
有形固定資産	(76,527)	(76,730)
建物及び構築物	20,198	20,537
機械装置及び運搬具	3,423	3,512
土地	44,437	44,593
その他の有形固定資産	8,469	8,086
無形固定資産	(829)	(819)
投資その他の資産	(19,952)	(18,895)
資産合計	156,377	154,263
負債の部		
流動負債	33,425	34,252
支払手形	936	949
営業未払金	12,026	12,383
短期借入金	8,470	8,520
1年内返済予定の長期借入金	646	711
その他の流動負債	11,346	11,687
固定負債	39,218	39,090
社債	10,000	10,000
長期借入金	7,821	8,127
その他の固定負債	21,396	20,962
負債合計	72,643	73,342
純資産の部		
株主資本	72,283	69,982
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,708	11,708
利益剰余金	48,470	46,167
自己株式	△2,077	△2,076
その他の包括利益累計額	10,928	10,456
非支配株主持分	521	481
純資産合計	83,733	80,920
負債純資産合計	156,377	154,263

損益計算書

◎単位:百万円、単位未満切り捨て

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで
営業収益	70,315	65,774
営業原価	63,037	58,520
営業総利益	7,277	7,254
販売費及び一般管理費	3,726	3,637
営業利益	3,551	3,616
営業外収益	586	455
営業外費用	177	186
経常利益	3,959	3,885
特別利益	150	207
特別損失	116	135
税金等調整前四半期純利益	3,994	3,957
法人税、住民税及び事業税	1,230	1,202
法人税等調整額	△44	31
四半期純利益	2,808	2,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,768	2,689

キャッシュ・フロー計算書

◎単位:百万円、単位未満切り捨て

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,124	4,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△816	△2,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,377	△2,233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,930	204
現金及び現金同等物の期首残高	29,975	27,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,908	27,732

TOPICS 1

「トナミ運輸(株)」と「第一貨物(株)」が協業開始

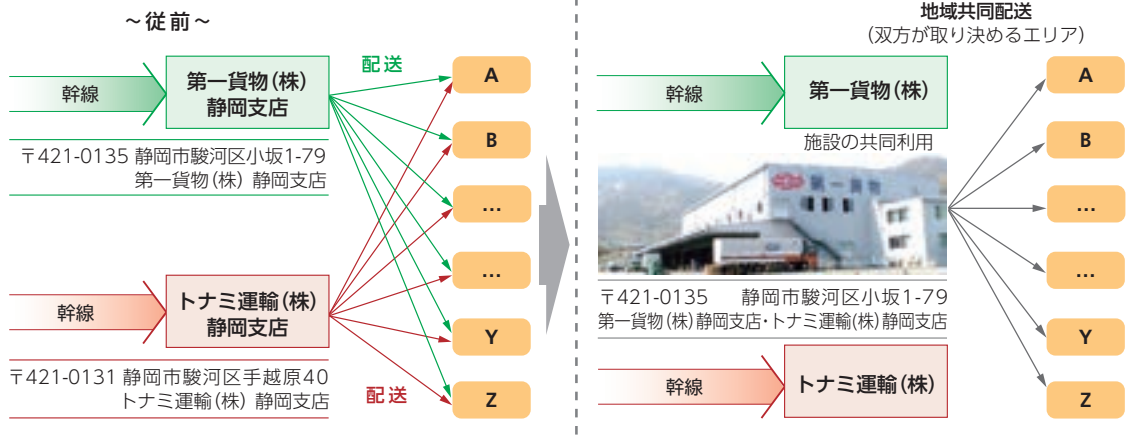
当社とディー・ティー・ホールディングス(株)(本社:山形市、代表取締役社長:武藤幸規)との2021年2月締結の資本業務提携の取組みの一環として、双方の中核会社であるトナミ運輸(株)と第一貨物(株)(本社:山形市、代表取締役社長:米田 総一郎)は、2022年6月から初の協業を開始しました。

第一貨物の静岡支店・特積み施設へトナミ運輸が入居し、ホームスペースの有効活用や付帯施設の共用をはかっています。また、地域共同配送により、双方の輸配送業務の効率化及び自社戦力の稼働効率の向上をめざしていきます。

1. 期待効果

	拠点の有効活用	輸配送の効率化	今後の展開
第一貨物	トナミ運輸がホームに入居(ホーム・スペースの1/3)することによる稼働率up	地域の共同配送エリアにおける配送車両の効率的運用による生産性向上と効率化によるCO ₂ 削減	幹線輸送に関わる相互補完等も視野に展開
トナミ運輸	現施設の老朽化・狭隘化の緩和(第一貨物施設への入居により現状の1.5倍にホーム増床)		

2. 協業イメージ



脱炭素への取組み

TOPICS 2

「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」 ディーゼルエンジン並みの出力を達成

トナミ運輸は、(株)フラットフィールド、東京都大学、北酸(株)、(株)早稲田大学アカデミックソリューションと「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」を2021年8月より開始しました。

本プロジェクトは、「走行距離が長く、需要量も大きい重量車(トラック等)」の脱炭素化にむけた取組みで、既存車両を水素エンジン車に改造し、その実用性の確保と環境性・経済性の評価を行うものです。水素エンジンについてはディーゼルエンジンと比較して出力不足が弱点となりますが、2022年6月には、既存のディーゼルエンジン並みの出力を得る

ことに成功しました。

開発した水素エンジンを搭載した車両を2022年度中に完成させ、2026年度の実用化をめざしています。



水素エンジンを搭載した水素トラックのイメージ

TOPICS 3

トナミ運輸の幹線輸送で「リニューアブルディーゼル」を実証利用

トナミ運輸は、伊藤忠エネクス(株)、(有)佐藤石油店と、カーボンニュートラルにむけた取組みとして、佐藤石油店の飛島トラックステーションにリニューアブルディーゼル(以下RD)^{*}の給油拠点を設置し、トナミ運輸の幹線輸送で実証利用しました。

トナミ運輸相模支店と中京エリアの事業所間の運行ルートにおいて、従来の軽油に代わる代替燃料としてRDを使用し、利用可能性を検討していきます。

※リニューアブルディーゼル(RD)

廃食油や動物油などを原料として製造され、温室効果ガスの排出量が軽油比約90%削減を実現する次世代燃料



リニューアブルディーゼルを使用する運行車

トナミホールディングス株式会社

■ 設立	1943年6月1日
■ 資本金	141億82百万円
■ 本社所在地	富山県高岡市昭和町3丁目2番12号 (〒933-8788)
■ 連結従業員数	6,744名
■ 役員	
代表取締役社長	綿 貫 勝 介
専務取締役	高 田 和 夫
専務取締役	泉 伸 一
常務取締役	寺 拝 豊 信
取締役	佐 藤 公 昭
社外取締役	犬 島 伸 一 郎
社外取締役	早 水 暢 哉
社外取締役	笠 井 千 秋
常勤監査役	三 枝 保 弘
常勤監査役	輪 達 光 春
社外監査役	松 村 篤 樹
社外監査役	尾 田 利 之

トナミホールディングスグループ

物流事業子会社

- トナミ運輸株式会社
- トナミ運輸信越株式会社
- トナミ運輸中国株式会社
- 京神倉庫株式会社
- トナミ国際物流株式会社
- 株式会社サンライズトランスポート
- 株式会社ティクワン
- 株式会社ケーワイケー
- 関東トナミ運輸株式会社
- トナミ首都圏物流株式会社
- 新潟トナミ運輸株式会社
- 北陸トナミ運輸株式会社
- 高岡通運株式会社
- 石川トナミ運輸株式会社
- 福井トナミ運輸株式会社
- 阿南自動車株式会社
- トナミ第一倉庫物流株式会社
- 株式会社御幸倉庫
- トナミ近畿物流株式会社
- 中央冷蔵株式会社
- 新生倉庫運輸株式会社

関連事業子会社

- トナミビジネスサービス株式会社
- トナミ商事株式会社
- 東洋ゴム北陸販売株式会社
- トナミシステムソリューションズ株式会社

その他関連会社

- 北海道トナミ運輸株式会社
- 高岡ケーブルネットワーク株式会社
- ジャパン・トランス・ライン株式会社
- 東砺運輸株式会社
- 株式会社ジェスコ

海外現地法人

- 托納美物流（大連）有限公司
- TONAMI (THAILAND) Co., Ltd.
(トナミ タイランド カンパニー リミテッド)
- MAHAPORN TRANSPORT Co., Ltd.
(マハポーン トランスポート カンパニー リミテッド)
- H&R Forwarding Co., Ltd.
(エイチ アンド アール フォワーディング カンパニー リミテッド)

トナミ運輸株式会社

- **設立** 2008年10月1日
- **資本金** 100億円
- **本社所在地** 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号
(〒933-8566)

■ 役員

代表取締役社長	綿 貫 勝 介
専務取締役	高 田 和 夫
専務取締役	泉 伸 一
常務取締役	寺 拝 豊 信
常務取締役	山 本 和 人
常務取締役	高 田 一 哉
常務取締役	佐 藤 公 昭
取締役上席執行役員	飛 弾 芳 彦
取締役上席執行役員	小 島 鉄 也
取締役上席執行役員	星 山 宗 洙
取締役上席執行役員	松 永 隆
取締役上席執行役員	桶 田 篤 史
取締役上席執行役員	鈴 木 勝 範
取締役上席執行役員	齋 藤 英 三 郎
取締役上席執行役員	高 柳 幸 司
取締役上席執行役員	綿 貫 雄 介
監査役	三 枝 保 弘
監査役	輪 達 光 春

■ トナミ運輸株式会社 主要な事業所

東京都	東京支店、京浜支店、葛西支店、板橋支店、足立支店、江東流通センター、東京航空支店、TSM東京支店、東京北航空支店、国際東京支店、通運東京支店
千葉県	千葉支店、野田支店、千葉流通センター、柏インター流通センター、千葉引越センター、野田整備工場
茨城県	鹿島支店、新関東流通センター
神奈川県	横浜営業所、川崎支店、相模支店、東横浜支店、川崎流通センター、東横浜流通センター、相模流通センター、平塚流通センター、神奈川流通センター、東神引越センター
埼玉県	久喜支店、浦和支店、熊谷支店、久喜流通センター、浦和流通センター、春日部流通センター、北関東引越センター
栃木県	栃木支店
群馬県	高崎支店
富山県	中央支店、黒部営業所、富山支店、砺波支店、通運高岡支店、小矢部流通センター、富山流通センター、小杉流通センター、新港流通センター、富山引越センター、富山航空支店、国際富山支店、砺波整備工場、ほくりく産品インフォメーションセンター
石川県	金沢支店、小松支店、能登支店、北陸引越センター、金沢航空支店、金沢整備工場
福井県	福井支店、敦賀営業所、武生営業所、福井航空支店、福井整備工場
岐阜県	岐阜営業所、高山連絡所
愛知県	名岐支店、港支店、小牧支店、岡崎営業所、豊橋営業所、小牧流通センター、小牧第2流通センター、清須流通センター、名岐流通センター、東海引越センター、名古屋整備工場
三重県	四日市営業所、上野営業所、四日市流通センター
静岡県	静岡支店、浜松支店、富士支店、藤枝営業所
滋賀県	滋賀支店、滋賀整備工場
京都府	京都支店、京都流通センター、京阪流通センター
大阪府	南大阪支店、東大阪支店、大阪中央支店、泉佐野支店、北大阪支店、大阪中央流通センター、関西センター、西淀川流通センター、東大阪流通センター、南大阪流通センター、南大阪流通第2センター、泉佐野流通センター、関西引越センター、大阪航空支店、関西航空支店
奈良県	奈良営業所、奈良流通センター、奈良第2流通センター
兵庫県	尼崎支店、神戸支店、加古川支店、加古川流通センター

トナミ運輸信越株式会社

- **本社所在地** 新潟県新潟市西区北場1087-1

■ トナミ運輸信越株式会社 主要な事業所

長野県	長野支店、上田営業所
新潟県	新潟支店、長岡支店、上越営業所、新潟流通センター、長岡流通センター、燕物流センター、新潟引越センター、新潟整備工場

トナミ運輸中国株式会社

- **本社所在地** 広島県広島市西区草津港3-2-1

■ トナミ運輸中国株式会社 主要な事業所

岡山県	岡山支店、岡山流通センター
広島県	広島支店、福山営業所、尾道営業所、広島航空支店、通運大竹営業所、通運広島支店
山口県	徳山営業所

■ 株式の状況

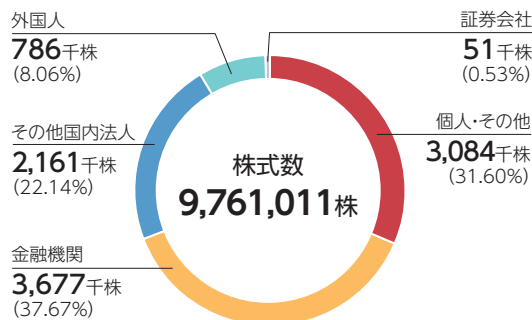
発行可能株式総数	29,920,000株
発行済株式の総数	9,761,011株
株主数	4,916名

■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	694	7.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	619	6.84
株式会社日本カストディ銀行	550	6.07
トナミ運輸従業員持株会	480	5.30
トナミ共栄会	431	4.76
株式会社北陸銀行	336	3.71
三菱ふそうトラック・バス株式会社	325	3.59
東京海上日動火災保険株式会社	322	3.56
トナミ親和会	307	3.39
TOYO TIRE 株式会社	299	3.30

(注) 上記のほか当社所有の自己株式697千株があります。

■ 所有者区分別株式分布状況



トナミホールディングス株式会社
TONAMI HOLDINGS CO., LTD.

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号
TEL : (0766) 32-1073 (代表) FAX : (0766) 32-1077

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年6月 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

公告方法

当社のホームページに掲載します
<https://www.tonamiholdings.co.jp/investor/public-notice/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します)

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関
(郵便物送付先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

フリーダイヤル 0120-782-031
(受付時間：土・日・祝日・年末年始を
除く9：00～17：00)

上場証券取引所

東京証券取引所

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

証券会社などの口座で
株式を保有されている
株主様

お取引のある証券会社へ
お問い合わせください。

特別口座で株式を
保有されている株主様

三井住友信託銀行へ
お問い合わせください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。